

Design for
Performance.WEB SITE DIAGNOSIS PLATFORM
CONFIDENTIAL REPORTPLAN TYPE
PRO PLANDATE
2026/6/13サイト診断
レポート

Web Site Diagnosis Report for Optimization

PREPARED FOR

ご担当者様用

診断対象URL

TARGET

https://example.com

総合スコア

46 / 100

診断サマリー

| サイト全体のパフォーマンスと信頼性に改善が必要です。

このレポートで得られること (3点)

- 30/60/90日の改善ロードマップ
- 主要導線の具体改善案
- CV改善の優先順位設計

優先度マップ (A/B/C課題)

制作会社へ渡せる順序で管理し、改善プロセスを可視化します。

Priority A: 3件

Priority B: 0件

Priority C: 0件

課題	改善方針	優先度	工数	担当
FVに主要CTAが存在しない/目立たない	FV内に主要CTAを1つ固定	A	S	制作
フォームのラベル不足	labelタグを整備	A	S	運用
LCPが遅い (主要コンテンツ表示が遅い)	FV画像を軽量化	A	M	制作

推奨着手順フロー

1

FVに主要CTAが存在しない/目立たない

2

フォームのラベル不足

3

LCPが遅い (主要コンテンツ表示が遅い)

4

再計測して次アクション決定

30日KPI目標 (現状 → 目標)

表示速度
17 → 42

CV導線
80 → 100

信頼性
20 → 40

SEO構造
100 → 100

上位課題の改善設計（実行用）

1. FVに主要CTAが存在しない/目立たない A

原因: ユーザーは数秒で判断します。主要CTAがFVにない/弱いとスクロール前に離脱しやすくなります。

完了条件: FV内に主要CTAを1つ固定

2. フォームのラベル不足 A

原因: アクセシビリティが低下し、フォーム離脱の原因になります。

完了条件: labelタグを整備

3. LCPが遅い（主要コンテンツ表示が遅い） A

原因: 2.5秒を超えると、ユーザーの体感速度が急激に悪化します。

完了条件: FV画像を軽量化

実装オーダーシート（制作会社共有用）

- 優先度Aを先行し、B/CはA完了後に着手
- 納品時に「完了条件」を数値で確認
- 30日後に同一URLで再診断し差分比較
- 連絡時は対象URLと優先課題一覧を共有

根拠データ（抜粋）

LCP: --

CLS: --

TBT: --

A/B/C件数: 3 / 0 / 0

視覚的診断

実際の表示状態をもとに、FVと導線の改善ポイントを確認

Visual 04

デスクトップ表示

スクリーンショットが取得できませんでした

モバイル表示

スクリーンショットが取得できませんでした

Pro版: 改善ポイント (最大5件)

- FVに主要CTAが存在しない/目立たない** : ユーザーは数秒で判断します。主要CTAがFVにない/弱いとスクロール前…
 - 離脱しやすくなります。
- フォームのラベル不足** : アクセシビリティが低下し、フォーム離脱の原因になります。
- LCPが遅い (主要コンテンツ表示が遅い)** : 2.5秒を超えると、ユーザーの体感速度が急激に悪化します。

Pro版: 画面チェック指標

FV CTA視認	未確認	要確認
フォームラベル	--	要確認
LCP	--	要確認
CLS	--	要確認
タイトル長	--	要確認

優先度マスター台帳 (A/B/C)

制作会社にそのまま渡せる実行順テーブル (担当/期限/完了条件付き)

A3

B0

C0

05

課題	改善方針 (要約)	優先	工数	担当	期限
FVに主要CTAが存在しない/目立たない	FV内に主要CTAを1つ固定	A	S	制作	W1
フォームのラベル不足	labelタグを整備	A	S	運用	W1
LCPが遅い (主要コンテンツ表示が遅い)	FV画像を軽量化	A	M	制作	W2
※Pro版はA/B/C全優先度を対象に、工程管理まで含めて定義します。					

実装仕様シート（詳細）

原因・改善・完了条件を1課題ごとに明記（制作指示向け）

Spec 1/1 06

1. FVに主要CTAが存在しない/目立たない

A

原因: ユーザーは数秒で判断します。主要CTAがFVにない/弱いとスクロール前に離脱しやすくなります。
改善: FV内に主要CTAを1つ固定 / CTA色を統一しコントラストを確保
完了条件: FV内に主要CTAを1つ固定

2. フォームのラベル不足

A

原因: アクセシビリティが低下し、フォーム離脱の原因になります。
改善: labelタグを整備 / 必須表記を明文化
完了条件: labelタグを整備

3. LCPが遅い（主要コンテンツ表示が遅い）

A

原因: 2.5秒を超えると、ユーザーの体感速度が急に悪化します。
改善: FV画像を軽量化 / 不要なJSの非同期読み込み / サーバー応答時間を改善
完了条件: FV画像を軽量化

Q 1 (FVに主要CTAが存在しない/目立たない)

FVに主要CTAが存在しない/目立たないの実装修正例

A: 【コード例】 `<label for="email">メールアドレス</label><input id="email" name="email" type="email" required>` の形でlabel/requiredを明示。

Q 2 (FVに主要CTAが存在しない/目立たない)

FVに主要CTAが存在しない/目立たないで使う計測手順

A: 【ツール/コマンド】 Chrome DevTools と Lighthouse CLI で変更前後を計測し、主要指標を比較。

Q 3 (フォームのラベル不足)

フォームのラベル不足の実装修正例

A: 【コード例】 `<label for="email">メールアドレス</label><input id="email" name="email" type="email" required>` の形でlabel/requiredを明示。

Q 4 (フォームのラベル不足)

フォームのラベル不足で使う計測手順

A: 【ツール/コマンド】 Chrome DevTools と Lighthouse CLI で変更前後を計測し、主要指標を比較。

Q 5 (LCPが遅い (主要コンテンツ表示が遅い))

LCPが遅い (主要コンテンツ表示が遅い) の実装修正例

A: 【コード例】 `` をFV画像へ適用し、画像容量を圧縮。

Q 6 (LCPが遅い (主要コンテンツ表示が遅い))

LCPが遅い (主要コンテンツ表示が遅い) で使う計測手順

A: 【ツール/コマンド】 `npx @squoosh/cli --webp auto -d output/ src/images/*.{jpg,png}` 実行後、`npx lighthouse https://example.com --only-categories=performance` で再計測。

カテゴリ別プレイブック

各カテゴリの目標・責任者・完了条件まで明記

Playbook 09

パフォーマンス

17

表示速度/安定性を改善

重点課題

LCPが遅い（主要コンテンツ表示が遅い）

2.5秒を超えると、ユーザーの体感速度が急激に悪化します。

完了条件: LCP 2500ms以下・CLS 0.1以下

担当: 制作

コンバージョン

80

CTA/フォーム導線を改善

重点課題

FVに主要CTAが存在しない/目立たない

ユーザーは数秒で判断します。主要CTAがFVにない/弱いとスクロール前に離脱しやすくなります。

完了条件: 問い合わせ完了率 +15%

担当: 制作

信頼性・安全性

20

不安要素を解消

重点課題

フォームのラベル不足

アクセシビリティが低下し、フォーム離脱の原因になります。

完了条件: 会社情報/規約/導線明示

担当: 運用

SEO・構造

100

検索流入の基盤を強化

重点課題

SEO・構造は概ね良好です

現状維持しつつ、月次で再計測して劣化を防止してください。

完了条件: title/Hタグ/内部リンク最適化

担当: 制作/運用

根拠データと閾値判定

再診断時に同条件比較できるよう基準値を固定

Evidence 10

LCP

--

目標: 2500ms以下

CLS

--

目標: 0.10以下

TBT

--

目標: 200ms以下

対象URL

https://example.com

対象プラン

Pro

課題件数 (A/B/C)

3 / 0 / 0

再計測ルール (固定)

- ・ 同一URL / 同一時間帯 / 同一ネットワーク条件で実施
- ・ 3回計測し中央値を採用
- ・ データ照合IDが一致するか確認
- ・ 差分は「速度/CV/信頼性/SEO」で比較

受け入れ判定 (QA)

- ・ A優先課題の完了率 80%以上
- ・ 主要KPIのうち2軸以上で改善
- ・ PDFレイアウト崩れゼロ (主要ブラウザ)
- ・ 旧導線 `/v3/result/:id` 互換維持

KPI設計 (30日 / 60日 / 90日)

改善施策の成果を経営判断に使える数値で管理

表示速度

17 → 33

30日: 31 / 60日: 35

CV導線

80 → 94

30日: 92 / 60日: 96

信頼性

20 → 33

30日: 31 / 60日: 35

SEO構造

100 → 100

30日: 100 / 60日: 100

算出根拠: 優先度A/B/Cの件数 (A: 3 / B: 0 / C: 0) と現状スコアをもとに、30日=A完了 / 60日=A+B完了 / 90日=A+B+C完了のシミュレーションで目標値を算出。

30日

- ・ A課題を完了
- ・ CV導線の初期改善
- ・ 再診断で初回差分確認

60日

- ・ B課題を順次実装
- ・ フォーム完了率最適化
- ・ SEO構造の再設計完了

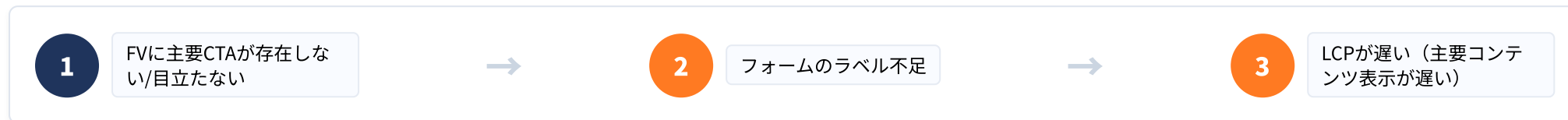
90日

- ・ C課題まで反映
- ・ 定常運用フローを確立
- ・ 次四半期計画に接続

実行順序と依存関係

手戻りを防ぐための実装順ルール

Dependency 12



依存関係の原則

- ・速度改善（LCP/TBT）を先行し、体験品質を底上げ
- ・次にCTA/フォーム改善でCV導線を最適化
- ・最後にSEO/信頼情報を横断反映し長期効果を回収
- ・各フェーズ完了後に1回ずつ再計測を実施

制作会社への依頼条件

- ・完了条件（数値）を契約時に明記
- ・納品物に「差分レポート」を含める
- ・実装単位をW1/W2/W3/W4で分割発注
- ・検収前に同一URLで再診断を実施

リスク管理と品質保証

実装時に起きやすい失敗を事前に潰すためのページ

QA / Risk 13

想定リスク

FVに主要CTAが存在しない/目立たない

ユーザーは数秒で判断します。主要CTAがFVにない/弱いとスクロール前に離脱しやすくなります。

フォームのラベル不足

アクセシビリティが低下し、フォーム離脱の原因になります。

LCPが遅い（主要コンテンツ表示が遅い）

2.5秒を超えると、ユーザーの体感速度が急激に悪化します。

再発防止チェック

- ・実装前に現状値を記録
- ・Pull Request単位で要件を照合
- ・公開前に計測値を再確認
- ・公開後24時間以内に異常監視

実行体制チェック（発注前）

- ・責任者: 週次レビュー担当を1名固定
- ・連絡手段: 対象URLと優先課題一覧を共有して依頼
- ・完了判定: KPI 2軸以上の改善を検収条件に設定
- ・再診断: 30日後に同一条件で差分確認

データ付録（採点根拠）

計測値と判定条件を制作側が追跡できる形式で整理

指標	実測値	目標値
LCP	--	2500ms以下
CLS	--	0.10以下
TBT	--	200ms以下
フォームラベル数	--	主要入力項目に設定
H1数	--	1以上
title文字数	--	25～35文字
HTTPS	未確認/無効	有効
HSTS	未確認/無効	有効

判定フラグ

CTA検出: 無

会社情報: 無

住所情報: 無

Privacy: 無

Meta説明: 無

構造化データ: 無

採点再現性情報

診断ロジック版

-

データ照合ID

-

比較運用メモ（制作会社向け）

- ・同一URLで再計測（条件固定）
- ・hash不一致時は比較対象から除外
- ・計測は3回実行し中央値を採用
- ・A課題完了後にB/C課題へ移行

経営判断サマリー（意思決定用）

担当者が経営陣へ説明し、Go/保留を判断するための要点を集約

Decision 15

判断メタ情報

対象URL

https://example.com

発行日

2026/6/13

診断ロジック版

-

現状スコア / 優先度別課題

46 / 100

A: 3 / B: 0 / C: 0

90日成果レンジ（目安）

表示速度: 17 → 37

信頼性: 20 → 38

CV導線: 80 → 98

SEO構造: 100 → 100

実行難易度 / リスク

高

M/L工数課題: 1 件

主要判断: 段階実行を推奨

投資レンジ（制作/改善の目安）

80,000 円 ~ 180,000 円

工数目安: 7 ~ 12 営業日（A/B/C課題・工数区分から算出）

回収目安（投資判断の参考）

3~6か月

CV改善・離脱抑制の効果が反映される一般的な期間レンジです。

意思決定の判断ポイント

- 4週間でA課題を完了できる実装体制を確保できるか
- 週次で成果（KPI）を確認する担当者を固定できるか
- 再診断条件を固定し、同条件で比較できるか
- 制作会社へ渡す実装資料が揃っているか

Go / 保留 判定表

A課題の担当と期限が確定: **Yes**

再診断条件（同URL/同時刻）固定: **Yes**

受け入れ基準（KPI2軸改善）合意: **必須**

現時点判定: **段階Go（A優先）**

発注パッケージ（引き継ぎ用）

制作会社/外部パートナーへ渡す最小セット

Handoff 16

共有すべき資料

1. 本レポート（Pro版）
2. 対象URL一覧（優先ページ順）
3. KPI目標表（30/60/90日）
4. 完了条件チェックリスト
5. 再診断比較レポート（次回）

依頼テンプレート（そのまま利用可）

- ・対象: Web制作/改善（LP含む）
- ・納期: 4週間（W1～W4）
- ・優先度: A → B → C の順で対応
- ・検収: KPI差分 + 再診断結果で判定
- ・連絡時は対象URLと要件一覧を共有

受け入れ基準（DoD）

- ・重大課題（A）の未対応ゼロ
- ・主要KPI 2軸以上の改善
- ・フォーム/CTA導線の実装反映
- ・UI崩れ/リンク切れゼロ

運用メモ

- ・更新履歴を週次で記録
- ・変更の前後スクショを保存
- ・差分レビュー会を隔週実施
- ・次の施策候補を常に3件維持

見積依頼時の記載例（参考）

工数レンジ

XS: 0.5日 / S: 1～2日

M: 3～5日 / L: 1週以上

発注単位

W1: A課題

W2-4: B/C課題

検収条件

完了条件 + KPI差分

再診断結果で確定

制作会社向け実行チケット

そのまま転記できるタスク単位（優先度/担当/完了条件付き）

Ticket 17

発注メッセージ例（転記用）

対象URL「<https://example.com>」のA/B/C課題について、優先度順（A→B→C）で実装をお願いします。納期はW1～W4、検収はKPI差分と再診断結果で判定します。納品時は「完了条件チェック結果」と「再診断レポート」を提出してください。

キックオフ前チェック

- ・担当者（制作/運用）を確定
- ・W1～W4の納期を双方合意
- ・検収条件（KPI2軸改善）を明文化
- ・再診断条件（同一URL/同時刻）を固定

初回着手タスク（W1～W2）

Task 1

A

FVに主要CTAが存在しない/目立たない

担当: 制作

完了条件: FV内に主要CTAを1つ固定

Task 2

A

フォームのラベル不足

担当: 運用

完了条件: labelタグを整備

Task 3

A

LCPが遅い（主要コンテンツ表示が遅い）

担当: 制作

完了条件: FV画像を軽量化

制作会社への共有テンプレート

- 1) 対象URL: <https://example.com>
- 2) 優先度: A→B→C で進行
- 3) 検収: KPI差分 + 再診断結果 で判定
- 4) 参考資料: 本レポート該当ページ を添付

OCCHIの制作支援

レポート内容を元に、Web制作・改善（LP含む）の実装相談・見積依頼が可能です。診断IDを添えてご相談ください。

OCCHI相談時の診断ID: **sample-bundled**

<https://occhiinc.com/lp-design/>

OCCHI案内ページへ